平成２９年度

学校経営の全体構想

緑苑小学校

＜学校課題＞
◇学力の向上に向けて、基礎的な知識・技能の習得と自ら学ぶ授業づくり
◇互いを尊重し合う温かい人間関係づくり
◇家庭、地域と連携した安心・安全な学校づくり

学校の教育目標

なかまとともに
力いっぱいやりぬく子

合い言葉
～笑顔あふれる緑苑小～

＜各務原市の基本方針＞
「誇り・やさしさ・活力のある児童生徒の育成」
～一人ひとりが幸せを実感できる学校教育～
（１）たくましく生きる力の育成
（２）安心して学べる教育環境
（３）学校・家庭・地域による地域ぐるみでの教育の充実

願う子どもの姿

やさしい心で助け合う子
◇相手を思いやる心
◇仲間と協力する心
◇自らを律する心

よく考えつくりだす子
◇自ら学ぶ力
◇伝え合う力
◇学んだことを活用する力

進んできたえる子
◇自主性・主体性
◇心身の健康
◇やりぬく強い意志

経営の重点

心づくり

○一人一人の児童理解と自己肯定感の育成

◆心が通い合う行事・活動づくり
・異年齢集団活動(ｽﾏｲﾙﾀｲﾑ)の推進
・異学年交流活動の推進
◆自己を見つめ、思いやりの心を育てる人権・道徳教育
・計画的な道徳授業の確実な実践
・あたたかい言葉かけ運動の推進
・「よいところ見つけ」運動の推進
◆いじめ・差別未然防止への取組
・からかいや暴力は絶対に許さない人権感覚に敏感な職員集団づくり
・心のアンケートの活用
◆一人一人に寄り添う教育相談
・全職員で要支援児童の共通理解
・ＱＵ検査の活用

学びづくり

○わかる・できる喜びを味わえる授業（学力の向上）

◆確かな学力の定着
・基礎学力の定着の徹底
・「３つの見届け」を意識した授業
・考えを確かにするノート指導
・ユニバーサルデザイン化の導入
◆学び合う集団づくり
・「聞き方・話し方」の共通指導
・学び合いの場(交流の仕方)の工夫
◆個に応じた学習指導の充実
・習熟度別少人数指導の充実
・なかよし学級の個別指導
◆語彙力を高める読書活動の推進
・朝読書、読書の啓発活動の実施
・必読書の全員読破

生活・体づくり

○学級・学年経営や児童会活動の充実

◆学級づくりの充実
・「わきみず活動」を柱にした取組
・「一人一役」係活動の充実
◆自治力を高める児童会活動
・常時活動の充実
・キャンペーン活動への取組の推進
・ボランティア活動の推進
◆体力・運動能力の向上
・運動量確保を意識した体育の授業
・縄跳び、鉄棒等がんばり表の活用
・全員参加の学級外遊びの実施
◆自分の命は自分で守る力の育成
・命を守る訓練の充実
・引き渡し訓練の見直しと実施
・登下校(通学班)指導の徹底

家庭との連携

◆PTAと連携した「あいさつ」「ボランティア手帳」「一家庭一ボランティア」等の推進

◆家庭学習の習慣化の啓発
・「家庭学習のすすめ」ﾘｰﾌﾚｯﾄ活用
・宿題の内容や見届けの共通理解

◆家庭と共に創る生活習慣
・早寝・早起き・朝ごはんの推進
・忘れ物ゼロ、整理整頓の取組

◆授業参観、懇談会、学校だより、緊急メール、ホームページ等による情報の発信

◎全職員の共通理解と共通行動による積極的な生徒指導
□声を掛け合い、事実と問題点を共有できる職員集団に　服務規律の徹底　五大不祥事の防止
□児童につく（具体的な事実をとらえ、ささやかな伸びを認める 言動の背景にある価値や生き方を評価する）
□よい情報は家庭に返す　ネガティブな情報は報告する

◎教職員の指導力の向上
（授業力・学級経営力・生徒指導力）
□主題研修の充実
□自己啓発面談（目的の明確化）
□教職員のキャリアアップ

◎安心・安全な学校
□危機管理態勢の確立（防災、防犯、食物アレルギーへの対応等）
□交通安全の推進、危険箇所調査

◎学校評価
□自己評価、学校関係者評価の実施
□保護者、児童アンケートの実施
□結果の公表PDCAによる指導改善

地域・関係機関との連携

子どもを地域に出す　　地域で子どもを生かす

□中学校区内での交流　・幼保小中の連携　・授業参観の交流　・活動の交流
□放課後学習の推進（寺子屋事業、放課後子ども教室）
□教育相談機関との積極的な連携（市の特別支援教育巡回相談、子育て支援課との連携）
□地域とのふれあい　授業や活動の公開（見守り隊との交流会、学校評議員会、地域行事への参加）
□地域人材・外部指導者の積極的な活用（キャリア教育・総合学習に生かす）
□校地内の環境整備（草刈、剪定、清掃：緑苑自治会環境ボランティアグループの皆様）